



豊島区長
高野 之夫

長年の懸案でありました新庁舎が完成をいたしました。これもひとえに区民の皆様並びに関係各位の温かいご理解とご支援の賜ものと深く感謝を申し上げます。

私が区長に就任した平成11年度当時は、借入金残高が872億円にまで膨れ上がり、財政再建団体への転落が危惧される状況で、とても庁舎建設など考えられない状態でありました。

しかし、年々老朽化が進み、区民の皆様にご不便をおかけし、区の防災拠点としても不安を抱える庁舎の実態を目の当たりにし、もはや新庁舎整備を先送りすることはできないと決心しました。

財政再建途上での計画がゆえ、創意と知恵を集結するとともに、次世代にわたる長期的な視点をもとに、先人から引き継いだ区有財産を大切に活かすことで、区民の皆様に必要な負担をかけずに新庁舎を整備することを基本に検討を進めてまいりました。日出小学校跡地を含む市街地再開発事業と現庁舎地の活用による、これまで他の自治体が行ったことがない全く新たな発想で全国初となるマンション一体型の新庁舎が完成しました。

新庁舎の総合窓口や福祉総合フロアは、年末年始を除いた土曜日・日曜日すべてを開庁するなど日本一便利な窓口をめざしています。

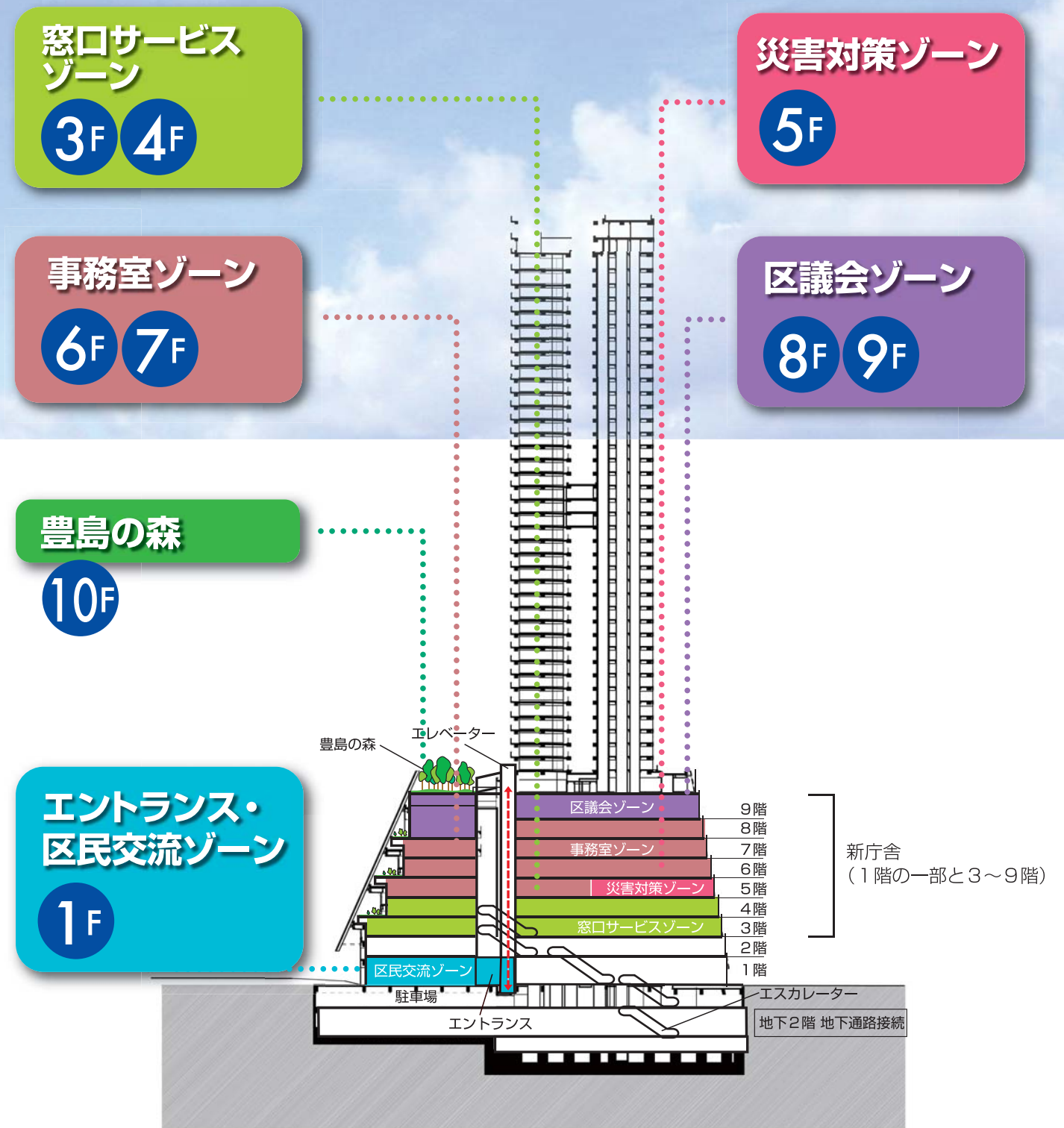
また、最先端の総合防災システムを導入し災害対策の司令塔としての役割を果たし区民の安全・安心を守ります。

さらに、1階の多目的スペース「としまセンタースクエア」、3階から9階の廊下壁面を活用した回廊美術館「庁舎まるごとミュージアム」や、屋上庭園「豊島の森」・グリーンテラスなど、手続きや相談だけでなく、区民が集う憩いの場所となるような新庁舎を実現しました。

この新庁舎完成を契機として、職員が一丸となり、より効率的な区政運営を図るとともに、皆様に末永く親しまれ、便利にご利用いただける庁舎となるよう、より一層きめ細やかな区民サービスに努めてまいります。

新庁舎整備の経緯

時期	内容
平成16年	9月「南池袋二丁目地区開発事業協議会」設立 12月 東京のしゃれた街並みづくり推進条例の街並み再生地区指定
平成18年	3月「南池袋二丁目地区市街地再開発準備組合」設立 5月 新庁舎整備方針（素案）公表 豊島区が準備組合に加入
平成20年	9月 新庁舎整備方針 策定 11月 区民ワークショップ開催
平成21年	7月「南池袋二丁目A地区」地区計画・市街地再開発事業等の都市計画決定 11月 新庁舎整備基本計画 策定
平成22年	1月「南池袋二丁目地区市街地再開発組合」設立認可 11月 新庁舎整備推進計画 策定 12月 庁舎位置変更条例 可決
平成23年	4月「権利変換計画」認可（全員同意型） 5月 解体工事着工
平成24年	2月 本体工事着工
平成27年	3月 竣工 新庁舎落成式（3月23日） 5月 新庁舎開設（5月7日）



建物概要

- 建物名称：としまエコムーゼタウン
- 敷地面積：約 8,324㎡
- 建物用途：庁舎・店舗・事務所・共同住宅（432戸）・駐車場
- 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造／（中間免震）鉄筋コンクリート造／一部鉄骨造
- 規模：地下3階／地上49階
- 建築面積：約 5,319㎡
- 延床面積：約 94,681㎡
- 容積対象面積：約 65,819㎡
- 最高高さ：約 189m

豊島区所有専有面積

- 庁舎：25,573.46㎡
- 駐車場：783.17㎡
- 駐輪場：265.98㎡
- 施行者：南池袋二丁目A地区市街地再開発組合
- 参加組合員：一般財団法人首都圏不燃建築公社
東京建物株式会社
- 設計・監理：株式会社日本設計
外観デザイン監修 隈研吾建築都市設計事務所
ランドスケープデザイン 株式会社ランドスケープ・プラス
- 施工：大成建設株式会社